

福島県内で発生する焼却灰（主灰や飛灰）からは、放射性 Cs が検出されている。特に飛灰中の放射性 Cs は水との接触により、溶出しやすいことが明らかとなってきた。そこで本研究では、県内一般廃棄物焼却施設の焼却灰を対象として、放射性 Cs の溶出特性等に関する試験を実施した。また、放射性 Cs の吸着効果があるとされる粘土鉱物を焼却灰に混練し、焼却灰中の放射性 Cs を難溶化する方法についても検討を行ったので結果を報告する。